

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

宮崎市長 殿



提出者 ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場  
住 所 宮崎市清武町木原727番地  
氏 名 取締役工場長 木村 偉作  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0985-85-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
事業場の所在地	宮崎市清武町木原727番地
計画期間	令和5年4月1日より令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子デバイス製造業(半導体素子製造業)
②事業の規模	製品出荷額: 433億4千万円
③従業員数	1,135人(構内請負会社従業員を含む)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙のとおり

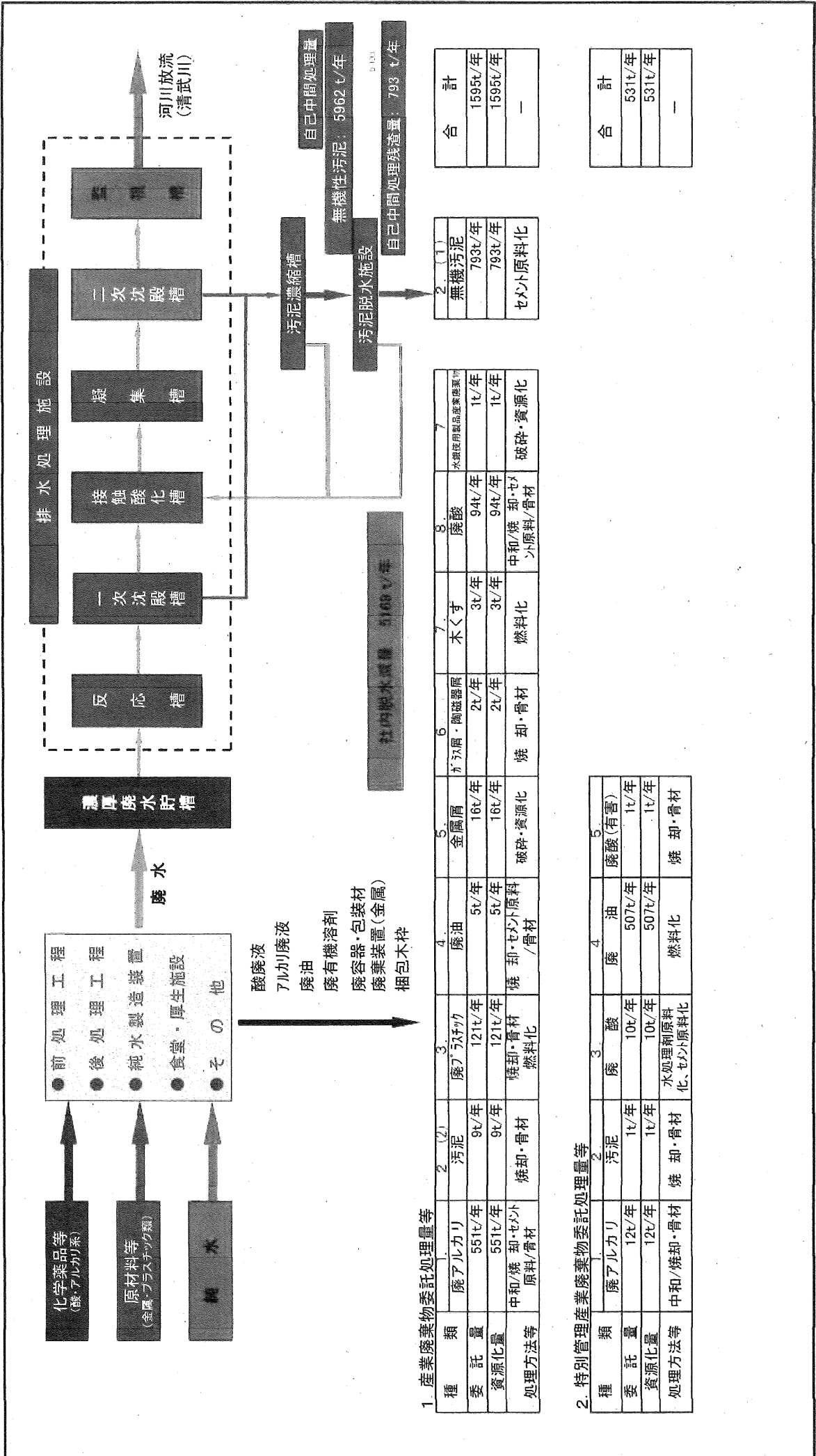
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

廃棄物の発生源及び処理フロー図 [令和4年度概要]



1. 産業廃棄物委託処理量等

種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
委託量	551t/年	9t/年	121t/年	5t/年	16t/年	2t/年	3t/年	94t/年	94t/年
資源化量	551t/年	9t/年	121t/年	5t/年	16t/年	2t/年	3t/年	94t/年	94t/年
処理方法等	中和/焼却・セメント原料/骨材	焼却・骨材	焼却・骨材 燃料化	焼却・セメント原料/骨材	破碎・資源化	焼却・骨材	燃料化	中和/焼却・セメント原料/骨材	中和/焼却・セメント原料/骨材

2. 特別管理産業廃棄物委託処理量等

種類	1	2	3	4	5
委託量	12t/年	1t/年	10t/年	607t/年	1t/年
資源化量	12t/年	1t/年	10t/年	607t/年	1t/年
処理方法等	中和/焼却・骨材	焼却・骨材	水処理劑原料化、セメント原料化	燃料化	焼却・骨材

合計	1595t/年
無機汚泥	793t/年
有機汚泥	793t/年
セメント原料化	—

自己中間処理量: 5962 t/年  
無機性汚泥: 793 t/年  
自己中間処理残量: 793 t/年

合計	531t/年
有機汚泥	531t/年
セメント原料化	—

1. 環境方針

当社は、ホームグループ環境マネジメントシステム (ISO14001) を厳守し環境保全活動を推進していきます。

2. 公害防止に関する組織及び管理体制

1 組織

2023.4月現在

選任者等	代表取締役社長	取締役 工場長	施設管理部	
			施設管理部長 宮崎施設技術グループ	部付
公害防止統括者	木村 偉作夫	●		
公害防止統括者 (代理者)	高橋 辰雄		●	
公害防止管理者 (水質)	岩切 安広		●	
公害防止管理者 (水質:代理者)	永岡 龍仁		●	
公害防止管理者 (大気)	伊豆 裕太郎		●	
公害防止管理者 (大気:代理者)	岩本 昌也			●
産業廃棄物処理責任者	高橋 辰雄	●		
特別管理産業廃棄物管理責任者	赤川 康広		●	
浄化槽技術管理者	永岡 龍仁		●	

2 管理体制 (主務担当部門等)

項目	防災対策本部	施設管理部		
		施設管理部長 宮崎施設技術グループ	環境管理グループ	
大気汚染防止対策	ばい煙発生施設	●	●	●
	排ガス除害施設	●	●	●
水質汚濁防止対策	排水処理施設	●	●	●
	合併処理施設	●	●	●
騒音及び振動の防止対策		●	●	●
悪臭防止対策		●	●	●
廃棄物処理対策	産業廃棄物中間処理施設	●	●	●
	保管・委託処理	●	●	●
環境緑化対策		●	●	●
防災対策	●	●	●	●
事故防止等の措置	●	●	●	●
地下水の保全		●	●	●

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
排出量	551	5,971	121	5	16	2	3	94	1
①現状	(これまでに実施した取組)								
	*排水の分別の細分化による汚泥発生量削減      *汚泥の脱水機改善による含水率低減 *廃プラスチックの有価売却による廃棄物削減 *金属屑の有価売却による廃棄物削減								
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品 産業廃棄物
排出量	567	6,142	124	5	16	2	3	97	1
②計画	(今後実施する予定の取組)								
	*薬品使用量の削減による排出量削減 *脱水機の運転方法改善による脱水汚泥の低減 *排水処理の薬注量見直しによる汚泥発生量低減								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み)	
	*ISO14001推進活動で、廃棄物管理規定により発生源別分別基準により排出 *廃プラスチックの分別の細分化による有価物化 *金属屑の分別の細分化による有価物化	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み)	
	*廃プラスチックの分別細分化による有価物化 *金属屑の分別の細分化による有価物化	



産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	0	5962	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)										
該当なし										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	0	6133	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)										
該当なし										

産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	5169	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)										
*排水の分別の細分化による汚泥発生量削減										
*排水処理中和剤の適正管理による汚泥発生量削減										
*アルカリ廃液の回収中和剤利用による汚泥発生量低減										
*工程内処理薬品の削減による排水処理中和剤使用量低減										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	5317	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)										
*脱水汚泥の含水率の改善										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)										
該当なし										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)										
該当なし										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
全処理委託量	551	802	121	5	16	2	3	94	1
優良認定処理業者への処理委託量	176	793	4	0	10	0	0	94	1
再生利用業者への処理委託量	551	793	0	0	16	2	3	94	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	9	121	5	0	0	0	0	0

①現状

(これまでに実施した取組)

\*再生利用・熱回収利用業者への処理委託の実施

【目標】									
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物
全処理委託量	567	825	124	5	16	2	3	97	1
優良認定処理業者への処理委託量	181	816	4	0	10	0	0	97	1
再生利用業者への処理委託量	567	816	0	0	16	2	3	97	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	9	124	5	0	0	0	0	0

②計画

(今後実施する予定の取組)

\*再生資源化率(ゼロEミ)99%以上の維持

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	廃油	金属屑	ガラス屑・陶磁器屑	木くず	廃酸	水銀使用製品産業廃棄物	合計
①現状(4年度実績)		排出量	551	5,971	121	5	16	2	3	94	1	6,764
②計画(5年度目標)		排出量	567	6,142	124	5	16	2	3	97	1	6,957
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状(4年度実績)		自ら再生利用を行った量	0	5,962	0	0	0	0	0	0	0	5,962
②計画(5年度目標)		自ら再生利用を行う量	0	6,133	0	0	0	0	0	0	0	6,133
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状(4年度実績)		自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自ら中間処理により減量した量	0	5,169	0	0	0	0	0	0	0	5,169
②計画(5年度目標)		自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自ら中間処理により減量する量	0	5,317	0	0	0	0	0	0	0	5,317
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項												
①現状(4年度実績)		自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(5年度目標)		自ら埋立処分を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
①現状(4年度実績)		全処理委託量	551	802	121	5	16	2	3	94	1	1,595
		内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量	176	793	4	0	10	0	0	94	1	1,078
		再生処理業者へ処理を委託した量	551	793	0	0	16	2	3	94	1	1,460
		認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	9	121	5	0	0	0	0	0	135
②計画(5年度目標)		全処理委託量	567	825	124	5	16	2	3	97	1	1,640
		内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量	181	816	4	0	10	0	0	97	1	1,109
		再生利用業者へ委託を委託する量	567	816	0	0	16	2	3	97	1	1,502
		認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	9	124	5	0	0	0	0	0	138